

申10号 2021年度冬期対策検証に基づく申入れ交渉開催 Part2

《津軽1項》つがる運輸区 B104 行路の冬期運用は連続乗務となり、運転士の負担が大きいため変行路対応としないこと。

- ・必要な休養時間は、乗務員勤務制度に則り確保されているが、冬期を考慮した行路を検討している。
- ・輸送課でも社員の声を把握しているので、総合的に勘案して検討している。
- ・燃料の面も含め検討している。

**B101が輸送障害で蟹田に来れなければB104が変行路対応している現実がある。
連続乗務で負担が大きいため臨時行路で対応するべきである！**

《津軽2項》GV-400系のワイパーは拭き取りが悪いため、改善すること。

- ・車両不具合情報の過去のデータで拭き取り不良の申告はない。
- ・冬期前にフレードごと取り替えている。
- ・ウォッシャー液を走行中に使用すると逆側に流れていくので改善が必要。しかし車両不具合情報で出されていないので、検修側では把握していない。

《津軽3項》GV-400系で機械回転数異常が多発したため、原因を明らかにし車両改修等の対策を講じること。

- ・発生状況や回数は把握している。エアクリーナーの給油口に雪が詰まることが原因である。改良品をメーカーと調整中だが冬期に間に合うか明言できない。間に合わない場合は、昨冬と同じ対応をしてもらうことになる。

《津軽4項》大釈迦駅、下り停目6付近の雪が多く手前に停車しなければ乗降できない場合があったため改善すること。

- ・毎日除雪しているが想像以上に降雪があった。今冬に向けて再度教育していく。
- ・排雪する場所がないのが課題となっている。多く雪が降った場合の排雪については検討する。

《津軽5項》川部駅・鶴ヶ坂駅下りホーム、及び鶴ヶ坂駅上りホームのレピーターが見えづらいため改善すること。また、鶴ヶ坂駅下りホームのレピーターが雪で埋まってしまうため改善すること。

- ・議論があったことは伝えていく。見えづらければ現場でも声を上げて欲しい。
- ・レピーターが隠れないように除雪するように今冬に向けて作業員に周知する。

《津軽6項》E751系が雪で起動不能になる可能性が高いため、浪岡駅・新青森駅下り停止位置手前に融雪マットを設置すること。

- ・弘前～青森駅間は不転換対策でポイント部分の増強はしてきている。

《津軽7項》鯉ヶ沢駅構内21号ポイントが凍結し、入換時に苦勞しているため対策を講じること。

《津軽8項》深浦駅構内21号ポイントが凍結し、入換時に苦勞しているため対策を講じること。

- ・カバーを改良出来ないため、解氷スプレーを配備することを検討している。

《津軽9項》津軽線の吹き溜まり対策を実施すること。

- ・盛岡支社でも把握しているので、計画的に除排雪している。
- ・対策本部の判断として、昨冬は日中2本ほど列車を運休して除雪を行った。

油川～津軽宮田駅間、左堰駅付近の吹き溜まりがひどいことを主張！

**対策が検討されている項目もいくつか確認できました！
今冬の検証運動に向けて職場で議論していこう！**